

Python による演習は、原則として「ML 演習番号.ipynb」ファイルが解答です。たとえば実践演習 1-1 の解答は「ML1-1.ipynb」です。

以下では、Weka を用いた演習の解答例を示します。

実践演習 3-1

`minNumObj=1, unpruned = True` にすることで精度 100% が実現できます。

実践演習 3-2

`minNumObj=3, unpruned = False` にすることで精度 96% が実現できます。これに加えて `useMDLCorrection`（数値特徴を分割するときの基準）を `False` にすると、精度 96.67% が実現できます。

実践演習 3-3

`minNumObj=21` にすることで精度 73% が実現できます。このときの木は、葉に近い `purpose` の特徴で広がっているので複雑そうに見えるだけで、全体としては比較的単純です。`minNumObj=25` にすると精度 72.1% に落ちますが、木はさらに単純になります。